

2024年度 下期 鳴尾浜事業部 安全衛生管理計画表

提示日:2024年 10月 1日

事業部長	マネジャー

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落灾害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 上期では、労働事故発生時にリスクアセスメントを実施して、工学的対策にこだわる議論ができる。しかし、積極的に危険源を探し防衛策としての取り組みに及んでいない。 ● 全工程で労災事故防止マニュアルを活用した、守るべき安全ポイントの発信ができるようになる。 ● 国分訓戒の指摘を通じて、新たな5Sのルール化が進んでいます。5Sルールを定着させて、検証できるようにする(PDCAサイクルを回す)
事業部方針	当社企業理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、物流を通じて組合員の暮らし、地域社会貢献の実現に向け「安全最優先で安心して働く環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。		
事業所方針	コーポレートや関係会社と協力し、働く人一人ひとりが、安全と健康を自分自身、仲間同士の問題ととらえ解決できる組織風土を醸成させます。 ①リスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落灾害の防止 ③5S活動の推進	年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ①ヒヤリハットなどによる、危険源の発掘から、リスクアセスメントを実施する。 ②労災防止マニュアルの完成 ③5Sルールの定着 ④カイゼン活動の推進 ⑤労働災害 年間2件以内(鳴尾浜事業部) ※上期3件発生 ⑥動力車事故 年間2件以内
前年度の活動の評価と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 3つのゼロの取り組み ①リスクアセスメントについて、ヒヤリハットなどによる危険源の発掘ができていなかった。下期の重点課題とする。 ②労災防止マニュアル完成に向けて、継続課題とする。 ● 5S活動の推進 ①カイゼン活動を推進することで、5S活動につながる風土の醸成を目指している。上期では、国分巡回が加わり外部の指摘を受けています。5Sのルール化は進んでいますが、ルールを定着させることが、課題となっている。 ②カイゼン活動の「見える化」を行っています。毎月の進捗確認が定着しており、継続した取り組みとする。 ● 作業管理強化では、適正配置のために物量と人時の相関関係の把握に努めています。 		

備考: ○…取組実施月 …取組期間 ➔

備考: ○…100%実施、△…75%以上、×…75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点	
				10	11	12	1	2	3				
3つのゼロの取り組み	① リスクアセスメントの継続強化	● 危険性及び有害性などの情報発信	・ 週ごとに、項目を変えて発信	責任者					➡				
		● ◆ リスクアセスメント実施	◆ 危険源の発掘(ヒヤリハットなど)	リーダー会					➡				
		● リスク低減措置の再検討	・ 6か月毎に実施	リーダー会					➡ 再検討				
	② 重篤災害につながる転倒・転落灾害防止	● 「労災防止マニュアル」作成と教育	・ 経由AM	仙石L					➡ 教育実施				
			・ 酒類	萩原C					➡ 教育実施				
			・ 返品	谷C					➡ 教育実施				
5S活動の推進	① 継続して5S活動が行える仕組みづくり	● フォーカリストの安全衛生教育	■ FLの安全衛生教育を実施する。	萩原C					➡ 教育実施				
		◆ 「足もとヨシ！」の取り組みを強化する	◆ 季節ごとの啓発ツールを周知	実施					➡ 実施				
		◆ 年末年始無災害運動	◆ 繁忙期における労働災害防止						➡				
		● 始業ミーティングで、重点ポイントを指示	・ 毎日ワンポイント発信	作業責任者					➡				
	② 取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	● ◆ 関係他社を含めた全体の取り組みにする。	・ 記録に残し(「見える化」する)	チーフ・リーダー					➡ 点検・検証				
			定着の検証を行う										
		◆ 作業者参加の職場巡視	◆ 責任者以外の作業者の参加						➡ 実施				
		● カイゼン活動	■ 管理業務拡大	仙石L					➡ 下期振り返り				
作業管理強化	適正配置研究	基準やルールを明確にして、次年度に向けた	(特売・棚卸管理)										
		改善点を洗い出す。	■ シュートロ積み付け方法の確立	勢川L					➡ 下期振り返り				
			と並べ間違い削減										
		● 3定管理の習慣化	・基準の明確化	チーフ・リーダー									
		● 生産性管理	■ シュートロにおけるバッチごとの生産性の進捗管理	谷C					➡				
			■ 酒類工程における生産性管理	萩原C					➡				

事業部長	マネジャー

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	1. 安全ルールの周知はできているが、更なるリスク軽減を目指し、安全最優先の風土化が必要 2. 安全取組推進、ルール徹底の維持継続 3. ライン作業ゆえに作業者は常に焦りの気持ちがある 4. 管理者の長時間労働について勤務シフト導入により減少しているが更なる改善が必要
事業部方針	全社方針である「3つの0の取組」と、「リスクアセスメント、5S活動」を推進し、ルールを守る組織風土の構築、および、社員が安全安心で明るく活きる職場環境を目指します。 一人一人の安全意識向上と安全取組の維持/改善の積み重ねによって、全員で「労働安全魚崎浜モデル」の構築をすすめます。 どのような状況下においても安全を最優先とした荷役作業の実践を全従業員で徹底します。		1. 労働災害ゼロ 2. 交通事故、動力車事故ゼロ 3. リスクアセスメントにおける管理的対策を、本質的/工学的対策とできる案を抽出 4. 5S取組推進による職場安全環境の推進 5. 社員全員が安全最優先を強く認識し行動する
事業所方針	1. 作業手順書作成、情報発信はWEBソフトを最大限利用し、全従業員に迅速に周知徹底 2. 過去に発生した災害事案と対策の周知と対策の継続 3. リスクアセスメント、5S取組を推進し、より安全で安心な職場の構築と全従業員に5Sの習慣化を目指す 4. コンプライアンス知識習得、ルールを遵守できる職場構築 5. 動力車操作、荷役作業における乗務員の安全意識向上の教育継続	目標	1. 労働災害ゼロ 2. 交通事故、動力車事故ゼロ 3. リスクアセスメントにおける管理的対策を、本質的/工学的対策とできる案を抽出 4. 5S取組推進による職場安全環境の推進 5. 社員全員が安全最優先を強く認識し行動する
2024年度上期の活動の評価と見直し	1. 活動評価 前年上期の災害発生件数9件に対し11件が発生(労働災害は▲1件、送迎バス物損事故+2件、動力車事故が+1件)。 ①動力車新人乗務員への運転操作研修を完了。新人による災害発生はゼロであったが、動力車事故は増加。 ※魚崎浜作業専用の動力車手順書を作成。危険箇所、ルールの再確認を全乗務員に教育実施済 ②熱中症による重篤患者発生なし ③注力していた転倒による労災は、前年4件⇒2件に減少。骨折も3件⇒1件に減少。今後も、転倒事故予防取組を引き続き推進していく。 ④軽量キャスター、物流カート導入による生産性向上取組は、労災リスク軽減と作業スペース確保につながり、RA/5Sにおいても大きな成果あり。 2. 見直し ①ベテラン動力車乗務員による事故が発生…運転スキルが高いゆえの油断やショートカット作業について再教育 ②基本作業ルールの周知徹底と風化防止 ③送迎バス乗務員への業務ルール周知徹底とKYTに注力(実際のドライブレコーダーによる説得力のある指導を実施)	下期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	

備考: ○…取組実施月 …取組期間

備考: ○…100%実施、△…75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				10	11	12	1	2	3			
重篤災害防止	1 発生頻度が高まり転倒、挟まれし事故の注意喚起	全作業者が「足元注意」を実践している	管理M・チーフ・リーダー						→			
	2 繁忙期の災害防止	適正人時配置/コントロールができる	M・チーフ		○	○						
リスクアセスメント推進	1 労災抑制視野拡大(危険個所・行為の周知)	危険個所/行為が周知され対策が実践されている	管理M・チーフ	○	○	○	○	○	○			
	2 新たな危険源集約/優先順位/リスク低減措置	運用変更時のリスク把握/対策ができる	M・チーフ						→			
	3 ハラスマントゼロ取組	知識/対策を習得し、範囲ある職場となっている	ライン長以上	○	○	○	○	○	○			
	4 異動者、新人への安全教育	実務前に基本安全教育が実施できている	リーダー・ライン長						→			
	5 マテハン機器メンテナンス	常にメンテナンスできており安全な状態	管理M	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○			
5S活動推進	1 3定推進	機器破損、異物混入の恐がない状態	チーフ・リーダー	○	○	○	○	○	○			
	2 日頃の整理整頓(不要物の廃棄)	躊躇、転倒の恐がない職場	ライン長以上	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○			
	3 作業者が参画した職場巡視	5S、職場安全が維持できている状態	安全管理者	○	○	○	○	○	○			
交通事故撲滅危険予知(KYT)	1 各KC台帳のメンテナンス	最新の状況、注意事項が記載されている	M・チーフ						→			
	2 送迎バス安全運用(KYT・ルール順守チェック)	ルール遵守、事故防止ができる	管理M・チーフ						→			
	3 動力車作業ルール遵守	危険個所/ルールを把握し実践できている	管理M・チーフ・リーダー						→			
	4 動力車KYT	重大事故、再発防止ができる	チーフ・リーダー	○	○	○	○	○	○			
迅速な情報共有化	1 手順書の更新(見直し)	常に最新の情報が記載されている	M・チーフ						→			
	2 個人面談(ハラスマント防止を含む)	作業者の意見収集、フィードバックができる	M	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○			
	3 定例会	荷主との情報交換・共有化	M	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○			
各種会議職場巡視安全記録化	1 ライン長会議の継続/充実化	情報の迅速な共有化	ライン長以上	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○			
	2 安全衛生日誌の記録充実化	社員の安全/健康状況把握	管理M						→			

2024年度 下期 宅配事業本部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2024年 10月1日

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落灾害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	①宅配事業所に従事する全職員が、所属で発生した通勤災害・労働災害を軽視せず、通勤時の「自家用車での事故」、業務中の作業場での「転倒・踏み外し」、トラック荷台での「転倒・転落」などに対して緊張感を持った行動を心掛けると共に自分事として捉え、防止策の実践。 ②既存の「不安全状態」に起因する構内作業の転倒リスクや、配達中の荷台内の転倒・転落に対する危機管理だけではなく、今後「起こりうるかもしれないリスク」に対しても順次見発し・提案を行い、リスクアセスメントを継続させていく仕組み作り。
事業部方針	従業員が、安心・安全に職務に全うできる職場環境を向上していくために、「RAの低減措置」ならびに、重篤災害の撲滅に向けた職場環境作りを目指します。		
事業所方針	マニュアルに記載されているリスクだけでなくリスクを予知し、「自身で回避」「自身で予測」出来る取組みを強化し、CMで働く社員と家族を守ることを継続します。 ①所属長・教育トレーナーによる「安全行動の基本」教育を継続 ②重篤災害に繋がる転倒・転落灾害の防止 ③安全作業マニュアルの100%遵守 ④継続した5S活動の邁進	目標	①重点施策に加え、上期に発生した事案についても同様の労災を発生させない。 ②物量が増加する年末の事前準備として、荷台内のグロス用ラッシングベルトの使用、シャッターの閉鎖、荷台からの降車手順を再度共有し、繁忙期の労災撲滅を目指す。 ③整理整頓が習慣化されるまで継続し構内作業場での転倒防止、荷台作業時の転落を防止する。 ④配達からの帰着後は「手洗い・うがい」の徹底、事務所常駐者は備品の「消毒・除菌」を定期的に行い、感染症による欠勤者の最少化を全員が意識する。
2024年度上期の活動の評価と見直し	①2024年度上期労働災害件数 【労働災害】3件(2023年度上期2件 前年差+1件) 【通勤災害】1件(2023年度上期0件 前年差+1件) 【24年度上期発生労災詳細】 ①トラック降車時、荷台の荷物に左足が挟まれた状態で負傷しそのまま転落 ②配達中の腰痛 ③冷凍庫内での転倒(転倒のタイミングで持っていた蓄冷板で顎下を負傷) 【想定していなかった災害ストーリーへの対応】 ①「荷台」「冷凍庫内」での新たなストーリーを追加→低減措置完了 ②現場で作業する地域担当者と一緒にになって、起こりうるリスクを洗い出し、想定外のリスクに対しても先回りが必要	下期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	

…取組期間 → 備考: ○…100%実施、△…75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				10	11	12	1	2	3			
①重篤災害につながる転倒・転落灾害の防止	1 グロス用ラッシングベルト活用の継続	①全従業員が安全作業マニュアルの100%遵守 ②繁忙期・年末年始無事故実現 ③荷台の通路スペースを意図的に確保し、24年度上期に起きた労災(荷台で足を負傷・転落)と同様案件を発生させない	班チーフ・担当				随时実施					
	2 荷台の安全な開閉行動(シャッター車)の継続		班チーフ・担当									
	3 繁忙期における労働災害の防止		全従業員									
	4 荷台降車用通路スペース確保(試験導入)		該当KC・本社スタッフ	試験導入								
	5 「足もとヨシ」の取り組み強化		全従業員									
②リスクアセスメントの継続強化	1 取り組みの内部周知及び裾野拡大	①「リスクアセスメント」を全社員が周知 ②新たな危険源集約・優先順位選考 ③リスクの種類によって新ルール制定	所長・班チーフ									
	2 新たな危険源集約・優先順位選考		全従業員									
	3 リスク低減措置の実施		所長・班チーフ・担当									
③継続した5S活動の推進	1 構内・作業場の整理整頓	①構内・作業場での転倒事故0件 ②5S項目・個人ノートボックスの整理整頓を特に強化し、繁忙期の個人情報混入・紛失を防止する ③流行感染症による欠勤者数削減	全従業員				随时実施					
	2 個人情報紛失・混入防止		全従業員									
	3 手洗い・うがいの強化を行い感染症リスク削減		所長・班チーフ				随时実施					
④安全衛生教育	1 雇入れ教育の危険予知活動の継続	①労災防止に対する必要な予防対策を実施することにより従業員に必要な知識を付与する ②積込時、配達時の腰痛発症を未然に防ぐ	所長・班チーフ				新人・異動者に対して隨時指導					
	2 腰痛予防体操の100%実施徹底		全従業員				随时実施					
	3 安全作業マニュアルのアップデート		宅配事業本部				追加項目必要時随					

2024年度 下期 トータルサポート事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2024年 10月 1日

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	【安全衛生診断評価】 ①低評価項目より優先課題を抽出し、全体での評価を向上させる(2024年度評価3.3P) ②「危険予知活動」の推進と定着 ③各部署責任者において「RA活動」「5S活動」の継続を進め、より良い職場環境を整える ④交通事故減を目指し、ドライバーの意識向上を目指す ⑤通勤災害、職場での労災ゼロへの取り組みを強化する
事業部方針	3つのゼロ(交通事故0 業務上災害0 ハラスメント0)を念頭に置き、社員全員が健康で元気に風通しの良い職場環境で働き続けることが出来る仕組みづくりを目指すことで、安全文化の醸成に尽力します。		
事業所方針	安全衛生部会を中心に安全環境整備を強化します。 社員が安全に対する「心構え」を維持できるような環境づくりを図り、危険予知や過去事例から学ぶ仕組みを整備します。 社員から、安全に対する自発的な意見が出るような雰囲気づくりに努めます。	目標	【取り組み数値目標】 労働災害下期…1件 交通事故下期…1件 安全衛生委員会100%実施
2024年度上期の活動の評価と見直し	・「リスクアセスメント活動」の推進と継続、2023年度の全体型アンケートの取り組み、低減措置による改善進捗は部署間において差がでてきている現状、があり、繰り返しの取り組みとなるため、形骸化を防ぎ新たな活動計画が必要と考える。 ・「5S活動」の推進と継続、現場での「いらないもののリスト」の作成をおこない、廃棄処分を行う計画ができた。今後計画どおりに廃棄予定。 【位置・定品・定量】への取り組みの先駆けとして、メール棟の定位置管理ラインを設置をおこなった。2025年度1月を目途にA棟かさ高・センターにて定位置管理ラインを設置予定。B棟リサイクル作業・印刷在庫・メール在庫においては、事業運営規模に応じた配置を検討、確認立案案が出来次第着手の予定。 【労働災害事故 2件発生 交通事故 5件発生】	下期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	

備考: ○…取組実施月 …取組期間 ➡ 備考: ○…100%実施、△…75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				10	11	12	1	2	3			
3つのゼロの取り組み	1 重篤災害につながる転倒・転落災害の防止	労働災害0件 交通事故0件	本部						➡			
	2 季節ごとの啓発ツールを周知する(10月・1月)		事業部長	○			○					
	3 繁忙期における労働災害の防止(12月～1月)		マネジャー			○	○					
リスクアセスメント継続強化	1 「ヒヤリハット」からの危険箇所の抽出(11月)	「ヒヤリハット」でのアンケート100%回収 RA活動低減措置の改善各部署2つ以上	安全衛生部会		○							
	2 新たな危険源の集約と優先順位の決定(12月)		各部署責任者			○						
	3 リスク低減措置の実施(1月～3月)		部長・マネージャー				➡					
5S活動の推進	1 継続して5S活動が行える仕組みづくり	5S活動計画と実施 廃棄下期中に実施 「定位置管理ライン」の設置 職場巡視の作業者参画	安全衛生部会	➡								
	2 「いらないものリスト」による廃棄を実行		各部署責任者	○								
	3 「定位置管理ライン」A棟作業場設置(1月)		部長				○					
	4 作業者参画型の職場巡視の確立(2月)		マネージャー					○				
「危険予知活動」	1 現場での危険予知活動の推進	月一度にてガルーンスペースへUP	TS安全衛生部会	➡								
	2 ガルーンスペースにて危険予知活動をUP		各部署責任者	月一	月一	月一	月一	月一	月一			
	3 所属「手順書」「標準書」への安全ポイントの追記		全社員	都度	都度	都度	都度	都度	都度			
「ヒヤリハット」	1 社員全体型アンケートの実施	「ヒヤリハット」からRA活動への取り組み実施と低減措置への改善	本部			➡						
	2 「ヒヤリハット」からの危険箇所の抽出		安全衛生部会				➡					
	3 RA活動へつなげる取り組みの実施		全社員	➡								